

大項目	読むこと
小項目	逐次読み
タイトル (教材名)	逐次読みのいろいろな支援方法
目的 身につけてほしい力	児童生徒の実態に合わせて支援を工夫し、意欲をもって読みの学習に取り組めるようにする。
支援の工夫 (指導事例)	<p>① 音読の回数を減らす。 読むことに苦手意識がある場合、何度も読むことを強要するだけでは読みの流暢さに結びつかない。宿題が音読3回なら、1回は自分で読み、あとの2回は保護者が読むのを聞くことに変更したり、次回の授業に必要な内容に絞って範囲を決めたりする支援をすることで、必要な内容の理解や正しい読みを覚えることにつながる。</p> <p>② 文字を拡大する。 文字の見え方に課題がある場合、文字を拡大したり行間を広くしたりすることで読みやすくなる場合がある。</p> <p>③ 指導者と一緒に確認しながら音読をする。 指導者が一緒に読んだり、間違った読みをした場合に繰り返し練習をしたりすることで、読みの定着をはかる。個別の取り組みになるので、上手に読めた時にはたくさん褒め、意欲を高めて学習できるようにする。</p>
教材の使用方法	
その他	・読むことに課題のある場合、小学校でよく設定される音読等の学習場面でうまく読むことができず、自尊心が低下してしまうことがある。早期に本人に合う支援方法を見つけ、自信をもって取り組むことができるようにしていきたい。